

「神の愛を受け、 愛の神に従う」

テサロニケ人への手紙第一 1章4~10節

1

神に愛されている兄弟たち。私たちは、あなたがたが神に選ばれていることを知っています。私たちの福音は、ことばだけでなく、力と聖霊と強い確信を伴って、あなたがたの間に届いたからです。あなたがたのところで、私たちがあなたがたのためにどのように行動していたかは、あなたがたが知っているとおります。あなたがたも、多くの苦難の中で、聖霊による喜びをもってみことばを受け入れ、私たちに、そして主に倣う者になりました。その結果、あなたがたは、マケドニアとアカイアにいるすべての信者の模範になったのです。 1テサロニケ1:4-7

2

主のことばがあなたがたのところから出て、マケドニアとアカイアに響き渡っただけでなく、神に対するあなたがたの信仰が、あらゆる場所に伝わっています。そのため、私たちは何も言う必要がありません。人々自身が私たちのことを知っています。私たちがどのようにあなたがたに受け入れてもらったか、また、あなたがたがどのように偶像から神に立ち返って、生けるまことの神に仕えるようになり、御子が天から来られるのを待ち望むようになったかを、知らせているのです。この御子こそ、神が死者の中からよみがえらせた方、やがて来る御怒りから私たちを救い出してください。 イエスは。 1テサロニケ1:8-10

3

神に愛されている

- 「父なる神と主イエスキリストにあるテサロニケ人の教会へ」 関係と環境、目的と(原動)力が変わった
- 「神に愛されている兄弟たち。私たちはあなたがたが神に選ばれていることを知っています。」使徒17:1-10
- 「信仰の働き、愛の労苦、希望の忍耐」
- 神の愛を受け入れることは、愛の神を受け入れること
- その方といっしょに生きること。主は、私たちにも十字架を負ってついて来なさいと言われた。
- 神の子どもたちとなり、私たちは「兄弟」となった。(いっしょ)

4

神に選ばれている

- 選ばれた目的
- 教会 = 集会、会衆 神の民、神の目的のために選ばれた、召し出された人々
- しかし、あなたがたは選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神のものとしてされた民です。それは、あなたがたを闇の中から、ご自分の驚くべき光の中に召してくださいました方の栄誉を、あなたがたが告げ知らせるためです。 1ペテロ2:9
- 神は、あらかじめ知っている人たちを、御子のかたちと同じ姿にあらかじめ定められたのです。それは、多くの兄弟たちの中で御子が長子となるためです。 ロ-78:29

5

神に選ばれている

その栄光と徳によって、尊い、すばらしい約束が私たちに与えられました。それは、あなたがたが、その約束のゆえに、世にある欲のもたらす滅びを免れ、神のご性質にあずかる者となるためです。こういつわけですから、あなたがたは、あらゆる努力をして、信仰には徳を、徳には知識を、知識には自制を、自制には忍耐を、忍耐には敬虔を、敬虔には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。...、ですから、兄弟たちよ。ますます熱心に、あなたがたの召されたことと選ばれたことを確かなものとしなさい。これらのことを行っていれば、つまずくことなど決してありません。 2ペテロ1:4-10

6

愛され、選ばれて成長する

- 神の愛は私たちを変える。それはオートマチックではない。
- **互いに親切にし、優しい心で赦し合いなさい。** 神も、キリストにおいてあなたがたを赦してくださったのです。 イペソ4:32
- ですから、**愛されている子どもらしく、神に倣(なら)う者となりなさい。** イペソ5:1

7

偶像を捨てる

- だれも、ふたりの主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛したり、一方を重んじて他方を軽んじたりするからです。あなたがたは、**神にも仕え、また富にも仕えるということではできません。** マタイ6:24
- 彼らの最後は滅びです。**彼らの神は彼らの欲望**であり、彼らの栄光は彼ら自身の恥なのです。彼らの思いは地上のことだけです。 1ピロ3:19
- 今日の最も大きな影響力のある偶像の一つは、自分中心、**自己中心**、中心がずれてゆがむ。

8

偶像を捨てる

- 偶像を捨てる=自分を捨てる。十字架を負って、くびきを負って、私について来なさい。
- 義=羊の下に我
- 「工事の終点、皆様の忍耐に感謝します。」



9

まことの神に仕える

- 宗教なら自分の目的達成のために使える。ご利益宗教。家内安全、健康息災、商売繁盛、、、
- 礼拝は自分たちを形成する
- そういわけですから、兄弟たち。私は、神のあわれみのゆえに、あなたがたにお願いします。あなたがたのからだを、神に受け入れられる、聖い、生きた供え物としてささげなさい。それこそ、あなたがたの霊的な礼拝です。**この世と(自分とも)調子を合わせてはいけません。** いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえ知るために、心の一新によって自分を変えなさい。 ローマ12:1-2、2テモ4:3-4

10

まことの神に仕える

- 救いは神に立ち返ること **使う者から仕える者になること**
- 目的 神の栄光のため
- 福音を受け入れる。福音の中身は父、子、聖霊の神との関係 生きた神との関係
- 死んだら天国に入れるという福音ではなく、生きていて神の国の民、すでに天国の国民という福音
- しかし、**私たちの国籍は天にあります。** そこから主イエス・キリストが救い主として来られるのを、私たちは待ち望んでいます。 1ピロ3:20

11

まことの神に仕える

- 福音はテサロニケから、人々の口コミ、うわさ「聖なるゴシップ」で広まった。
- 神の愛を受け入れることは、愛の神を私たちの心に、生活に受け入れることです。クリスチャンは偶像を捨てて、神に立ち返り、仕えるようになった者です。自分も偶像になり得るので気をつけましょう。

12